

step up

2025 校内研修通信

「言語能力を育むモデル校」としてスタートし、2ヶ月が過ぎました。

「言語能力を育むモデル校」のミッションとしては、学校図書館を充実・活用することも含まれています。1年生生活科「わたしのはなをそだてよう」の単元で取り組んだ、学校図書館の本を活用した授業について紹介します。

本時は、生活科で植えたアサガオの世話について、図書館資料で調べ、新しく知ったことや気づいたことをカードに書くことを言語活動としています。

まず、「今、自分のアサガオが、どんなふうになっているか」と生活科での観察を思い出しました。子どもたちからは、「葉っぱが大きくなっていた。」「葉っぱの数が増えていた。」「へびみたいなのが伸びていた。」と意見が出ました。子どもの「つるが下に垂れていた。」の声に、先生が「このまま放っておいていいかな。」と問いかけます。そして、本時の目標「あさがおがよろこぶことをしらべよう。」と黒板に書きました。



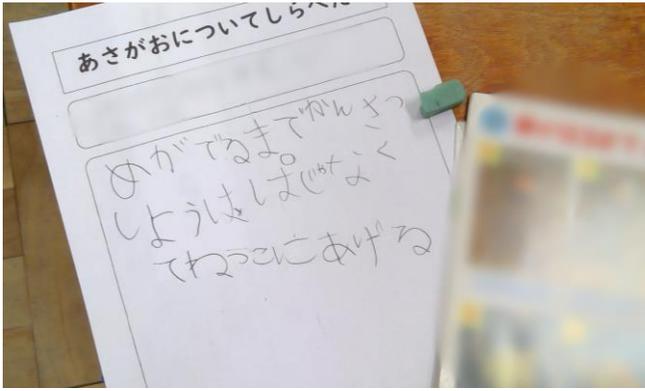
グループになって、アサガオに関する本で調べ始めました。一人に一冊ずつ行き渡るように配っています。子どもたちは、自分が見つけた情報を見せ合い、伝え合っていました。

「こんなふうに、アサガオが咲くんやって。」

「えー、見せて、見せて。」と本をのぞき込んでいます。

「これ、花粉やって。」と新しい情報を見つけます。





「こんなふうに土の中で根っこが伸びるんやって。」と土の中で根が伸びる様子に興味をもった子は、カードに（水）『は（葉）じゃなくて、ねっこにあげる。』と書いていました。

「私のつるも、こんなふうに上に伸びていた。」と本の写真を見て話す子に、先生が説明を読んであげています。『つるは、巻き付くものをさがします。』と書いています。
「これから、どうしてあげたらアサガオは喜ぶかな？」



「この棒、『支柱』って言うんやって。」と新しい言葉にも触れます。先生が、「何でこの棒いるん？」と聞くと、「こんなふうに、くるくるまわっていく。」と本の中から答えを探しました。

「支柱を立てること」「水やりを続けること」といった本時で気が付いてほしかった内容だけでなく、本を開いて調べることで、土の中で根が伸びる様子や、つるの巻き方、花が咲く様子、花の種類など、知識が広がっていました。これが、図書館資料のよさの一つだと感じる授業でした。

